

国際サーカス村通信	VOL.14 NO09	2010年7月27日(火)
		文責 西田 敬一
編集NPO法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net	

●発表会を終えて

サーカス学校9年目後期発表会は、去る16日(金)、17日(土)に、無事、終了しました。

9月にはサーカス学校を始めて10年目に入るということもあり、いろいろな想いが、走馬灯のようにといういささかオーバーですが、公演中に浮かんで消えていました。といて、感傷に浸っていたのではなく、むしろあれこれ思い出しながらも、今後のサーカス学校のあり方に思いを巡らしていたという次第です。

ひとつには、サーカス学校開始当初は、大道芸を行っていたメンバーが中心でしたし、その後は、どちらかといえば、サーカス学校生徒たちから情報を仕入れた者が多かったのですが、現在では、ほとんどが、自らネットなどで調べてきている生徒たちで、しかもジャグリングの経験もなければ、はっきりと取得したいサーカス技があるのではなく、ただサーカスをやりたいという、しかもとても大人しい、ステージに立てるようになるか判断のつかない高卒の若者です。

そうした若者たちが、当初、僕がイメージしていたサーカス・アーティストに育ってくれるかどうかはわからないというか、そうした見方は、僕の中では数年前にすでに消え、と同時に、ぼくらにとってどういうサーカスショーが可能なのかという課題が浮かび上がってきたのです。これが実に難問で、フランスや北欧の国々でさまざまに開花しているヌーボー・シルクやコンテンポラリー・サーカスが脳裏を掠めるものの、それらを参考にサーカス学校生徒のショーを創作するのは、現状ではとてもムリだなという気がするのです。そうしたものを参考にするには、やはり、自分たちにしっかりしたコンセプトというか、あえていえば、ショーを作りだしていく思想、哲学のようなものがが必要です。

サーカス学校の生徒たちが身につけている、あるいは身につけようとしているのは、現状では、オーソドックスな技です。しかもそれらの技を習得しても、一流のサーカス・アーティストの技量と比較できるかといえば、残念ながら、その道ははるかに遠いと言わざるを得ません。ということは、オーソドックスな技を次々に展開していくサーカスショーを組み立てても、お客を満足させることはムリだということです。技数も不十分です。

サーカス学校の発表会として見ていただくのであれば、まさしくサーカス学校であるという認識をお客様が持っているので、それなりに納得してくださるでしょう。しかし、あくまでサーカスショーとしてお客様に見ていただくのであれば、サーカスショーを見たという、ある満足感をお客様が感じられるようなショーを提示できなければなりません。課題はここにありません。

今年3月、シアターX「花田清輝的、きよてる演劇詩の舞台」で、シアターXの自主企画のひとつとして試作上演した『勝ってたまるか剣振丸』では、花田清輝著『小説平家』の第三章を素材に、そこに描かれている、奈良・大安寺に、ベトナムやインドなどからさまざまな技持ちが集まっていたというシーンを利用し、サーカス学校の生徒たちに、役者として登場し、同時にそれぞれの技を披露する仕掛けを作りま



した。これはかなり好評だったのですが、サーカス学校の生徒たち自身の作品かといえば、必ずしもそうではなく、そこに参加したという意味合いが強いものであると言えるでしょう。

サーカス学校として作品をつくるのであれば、そのもう一歩先へいかなければなりません。そのためには、なにを学んでいかなければならないかが、今、問われていると思います。ぼくらにとっての夏休みの宿題です。

●2009 年度後期発表会

沢入国際サーカス学校の生徒たちにより、以下の演目が披露されました。



1. オープニング
2. 一輪車/カオリ
3. シガーボックス/ケンタ
4. 倒立バランス/ユミコ
5. ハット・ローラー/カイ
6. バランス芸/マリ、スティルツ/ケンタ、玉乗り/アキコ
7. 空中リング/ユミコ
8. ジャグリング/タケヒロ
9. ボール/ケンタ、カオリ、アキコ
10. コントーション/アリサ
11. フラフープ/マイ
12. 空中ロープ/マリ
13. エンディング



尚、16日は上記のメンバーの他、ディアボロ/エイスケ、座布団ジャグリング/ヨシ、ヨーヨー/ナオトに参加してもらいました。



今回の発表会で、フラフープの柴原麻衣さんが卒業しました。卒業後の進路は未定とのことですが、これからますますの活躍を期待しています。

麻衣さん、ご卒業おめでとうございます！



最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

●神戸公演 2010年9月11日(土)～2010年11月9日(火)
休演日; 9月22日(水)と毎週木曜日。但し、9月23日(木)は開演。
会場; 神戸市北区 イオンモール神戸北 特設会場
電話; 078-332-0900(9/7まで) / 078-986-0090(9/7から)

★キグレサーカス

●青森公演 2010年8月7日(土)～2010年9月20日(月)
休演日; 毎週金曜日
会場; 矢巾町流通センター南・ウェストヒルズ広宮沢特設会場
電話; 岩手日報社事業局事業第一部 019-653-4111

★ポップサーカス

●各務原公演 2010年9月11日(土)～2010年10月17日(日)
休演日; 毎週火曜日。6/26(土)は 13:00 公演、19:00 公演の 2 回公演。
毎週金曜・土曜ナイターショー開催。
会場; かかみがはら航空宇宙科学博物館特設大テント会場
電話; 058-380-6857(9/5まで)/058-386-0090(9/6から)

★シアターレストラン『ルナ・レガーロ』～月からの贈り物～

一流シェフによる“月”をイメージした限定料理、世界最高峰のパフォーマンスと、
映像が織り成す新しいエンタテインメントの世界。

●本公演 3rd Stage 2010年9月1日(水)～10月17日(日)

①12:00②17:30③18:30 日によって開演時間が異なりますので、詳しくはインフォメーションデスク
にお問い合わせいただくか、公式 HP をご覧ください。

会場; 日比谷パティオ特設会場

休演日; 毎週月曜日、9月14日(火)、9月21日(火)、10月5日(火)、10月12日(火)。但し、9月20日(月)と10月11日(月)は開演。

電話; インフォメーションデスク 0570-02-9912

★チャイニーズ・スーパーエンターテイメント『CHA～茶～』

世界中が注目する上海万博における最大の話作が中国発のスーパーエンターテイメントショー「CHA～茶～」。そのタイトルが示すように中国のお茶をテーマに伝統の雑技、武術、舞踊を現代的にアレンジした音と光のスペクタクル・ショー。

●2010年8月12日(木)～25日(水) 会場: Bunkamura オーチャードホール

休演日; 8月18日(水) お問い合わせ; Bunkamura 03-3477-3244

その他公演情報

★映画『ルンバ! (RUMBA)』、『アイスバーグ(L' Iceberg)』

■2本仕立て。道化師カップルアベル&ゴードン主演監督作品。道化師が完成した言葉無用ギャグ満載の傑作2本仕立て! 東京国際フル祭に出演しました『BP ZOOM』のフィリップも出演しています。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

■2010年7月31日(土)より独占ロードショー ■会場: TOHO シネマズ シャンテ ■電話: 03-3591-1511

★横浜にぎわい座八月興業『爆笑演芸会』

■出演者 昭和のいる・こいる(漫才)、源氏太郎(笑いの音楽)、コント山口君と竹田君(コント)、Wコロ(漫才)、三雲いおり(コメディ・ジャグリング)、ちゅうサン(コミカルマイマー)

■2010年8月10日(火)午後2時開演 ■会場: 横浜にぎわい座 ■電話: 045-231-2515

★NeXT IMPRO THEATRE(ネクストインプロシアター)

■インプロとは、台本や事前の打ち合わせが一切無く、すべてその瞬間に生まれたことから即興で創られていくエンターテイメントです。その日劇場にいらしたお客様からタイトルをいただき、その場で芝居やミュージカルを演じます。

■2010年8月25日(火)19:30開演 ■会場: 新宿ブーク人形劇場 ■電話: 株式会社インプロジャパン 03-3291-1626

★すがぼん劇場『～風』

■無言なのにやかましい! マイムエンターテイメント。■2010年8月7日(土)15:00/19:00開演、8月8日(日)15:00開演

■会場: 調布市せんがわ劇場 ■電話: すがぼん劇場 090-9343-4911

★クラウンのいる風景『改訂版 おいしいボルシチの作り方』

■国籍、年齢、性別、血液型など、どんな垣根も越え、笑い感動の渦を巻き起こしてきたクラウンデュオ RONE&Gigi。今回は、おいしいボルシチの物語を通し、面白おかしくて優しいっぱいのクラウンの世界をお届けします。

■2010年9月25日(土)19:00開演 アフタートークあり、26日(日)2時開演

■会場: 川崎市アートセンター アルテリオ小劇場 ■電話: 有限会社 at SESAME 03-3762-1535

★屋下がりの冗事 Vol.9

■日曜日の屋下がりを数倍楽しくするエンターテイメント・ライブが、Vol.5から連続ドラマ仕立ての新しい趣向でさらにグレードアップしています。

■2010年9月26日(日)正午より(開場午前11時30分) ■会場: 渋谷 O-nest ■電話: 03-3403-0561(ACC)

★汎マイム工房 Presents2010

平成22年度文化庁芸術創造活動特別推進事業 ■電話: 汎マイム工房 03-3993-9418 ■会場: STADIO PAC

黙詩劇『あの青い空の波の音の聞こえるあたりに』

■谷川俊太郎「かなしみ」より。作・演出あらい汎。劇団員総出演。

■2010年9月29、30、10月1、2、3日

フランス ソニコン・ダンス・カンパニー来日公演/汎マイム工房主催

フィジカルシアター『ラ・ベスチオル』

■出演: 壇上花子、イザベル・ルフェーブル、ソフィ・マルレイ ■2010年11月11、12、13、14日